

グリーン調達

お客様に環境効率の優れた製品・サービスを提供するために、お取引先のご協力のもと、生産用部材からソフトウェア・サービスまで、グリーン調達を推進しています。

グリーン調達の考え方

富士通グループは、地球環境に配慮した部品・材料や製品を優先して購入するグリーン調達に関して、基本的な要求事項を「富士通グループ グリーン調達基準」として策定し、お取引先とともにグリーン調達活動を推進しています。

 富士通グループ グリーン調達基準
<http://procurement.fujitsu.com/jp/green.html>

第5期環境行動計画におけるグリーン調達活動

富士通グループでは、第5期環境行動計画におけるグリーン調達活動として、お取引先に対して以下の2つの活動を推進してきました。

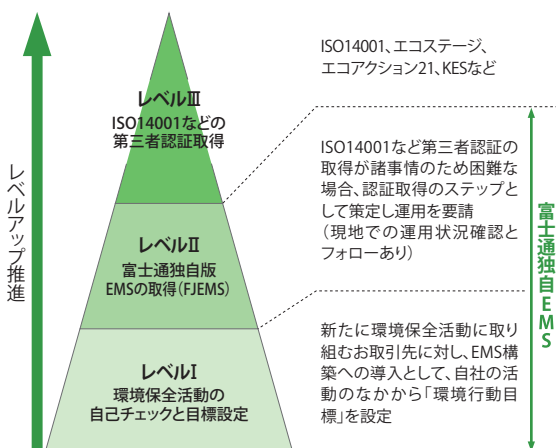
お取引先の環境マネジメントシステム(EMS)の高度化

お取引先における環境負荷低減活動をさらに推進するため、「EMSレベルアップ説明会」などを通して、お取引先に「第三者認証取得」や「FJEMS※の構築」などEMSのレベルアップをお願いしました。具体的な目標としては、「部材系のお取引先が運用するEMSをレベルII以上にする」を掲げ、2009年度までに100%を達成しています。

今後も、「EMS レベルアップ説明会」などを通して、お取引先のEMSの高度化を推進するとともに、サプライチェーン全体の環境負荷低減活動のレベル向上に貢献していきます。

※ FJEMS: Fujitsu Group Environmental Management System の略。
富士通グループ独自のEMS。

グリーン調達におけるEMS構築



お取引先の含有化学物質管理システム(CMS※1)の構築

サプライチェーン全体において含有化学物質を適正に管理するために、JAMP※2が作成した「製品含有化学物質管理ガイドライン」に基づいたCMSの構築をお取引先に要求・支援し、源流管理を重視した含有化学物質の管理体制を強化しました。

具体的には、部材系のお取引先を対象にCMSの構築状況を監査するとともに、管理体制が不十分な場合は支援を実施しています。2009年度までにCMSが適切に構築されたお取引先は98.2%となりました。未構築のお取引先に対しても、支援を続け、2010年度上期中の100%達成をめざします。

今後も、説明会や定期監査などを通して、お取引先に源流管理の大切さを訴え、サプライチェーン全体の含有化学物質管理レベルの向上を図っていきます。

※1 CMS: Chemical substances Management System の略。

※2 JAMP: Joint Article Management Promotion-consortium の略。
アーティクルマネジメント推進協議会。

第6期環境行動計画に基づくグリーン調達活動の新目標

富士通グループは、中期環境ビジョン「Green Policy 2020」の実現に向けて、「富士通グループ グリーン調達基準」を一部見直しました。今後、第6期環境行動計画として、お取引先とともに以下の2つの取り組みを推進していきます。

お取引先におけるCO₂排出抑制／削減の取り組み

自社におけるCO₂排出量の把握にとどまらず、社外への取り組みの宣言、具体的目標を掲げたCO₂排出抑制／削減活動などに取り組んでいただくようお願いしていきます。

お取引先における生物多様性保全の取り組み

活動意義を理解し社外への取り組みの宣言を行っているかなど、従来の環境活動との違いを明確に意識して取り組んでいただくようお願いしていきます。

目標の決定に先立ち、2009年度に、主要なお取引先に対して事前調査を実施した結果、お取引先によって重要性の認識や取り組み状況に差があることがわかりました。

富士通グループは、これらの目標についてお取引先の力量に応じた取り組みをお願いし、お取引先と一緒に取り組んでいく方針です。